

子どもの実態をふまえて創意工夫した授業より、学習指導要領に忠実な画一的授業？

## 指導教諭より30人学級を

## 一方的実施反対の署名にご協力

東京都教育委員会は、主幹教諭と同じ4級職に「指導教諭」という

新たな職をおくことを提案してきました。都教組との交渉が始まります。

### 都当局の提案

- ①自ら授業を受け持つとともに、自校及び他校の教員に対して、教育指導の改善充実のために指導助言を行う。
- ②主幹教諭と同じ4級職として、主幹教諭選考を4級職（主幹教諭・指導教諭）選考とし、25年度選考より実施したい。
- ③教職員特有の制度であることも考慮し、任命権者（都教委）と単組（都教組など）との協議に委ねたいと思います。

### 【具体的には・・・】

- ◆指導教諭は年3回の模範授業、研究協議会を実施
- ◆他校の指導教諭の模範授業を見た教員は、自分の学校でそれを見て、自分の学校の教員にその授業のやり方を広める。
- ◆指導教諭は、他校に出向いて指導する。（エッ、その間自分のクラスの授業は誰が指導するの？）

校内研究・市教研・自主的な研究で同僚と学び合う中で指導力が高まるのに・・・

他校に出かけて「指導」する先生より30人学級のために先生をふやしてほしい。



## くらしと教育を守る

### 都教組に加入を

私たちの賃金は、毎年の都当局と都労連都教組や都庁で働く職員などの6組合の労使協議で決まります。

11月15日早朝の団体交渉をへて、今年の運動は一定の到達点を得ましたが、厳しいものでした。退職手当も削減されてしまいました。それでも都労連の運動で、削減額を一定押し返しました。

石原都政が進めてきた人件費削減や成績主義強化など都側の姿勢は強行です。

国民に消費税増税や社会保障の負担増を押し付ける口実に、公務員賃金の削減が使われています。公務員賃金の削減は民間会社の賃金のさらなる低下の口実にもされます。

また、電機・情報産業の大企業では十三万人のリストラ計画がすすめられています。働くものの生活を改善するのではなく、弱者にさらなる痛みをしいる政治が背景にあります。

指導教諭制度、高齢期雇用制度のあり方、業績評価制度の透明性を高めることなど、これからの交渉が大切です。くらしと教育を守る都教組に加入されることを心から呼びかけます